

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年12月26日 (2013.12.26)

【公表番号】特表2013-508454(P2013-508454A)

【公表日】平成25年3月7日 (2013.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-012

【出願番号】特願2012-536876(P2012-536876)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/4174 (2006.01)

A 6 1 K 31/498 (2006.01)

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 17/02

A 6 1 K 31/4174

A 6 1 K 31/498

A 6 1 K 31/137

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月6日 (2013.11.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

急性紅斑の治療を必要とするヒトの急性紅斑を治療するための、 __ アドレナリン受容体作用薬又は医薬的に許容され得るその塩を含む医薬的に許容され得る組成物であって、ヒトの急性紅斑部位へ局所的に投与される、組成物。

【請求項 2】

急性紅斑が、突然現れる皮膚の状態であり、非持続性で、一時的な皮膚の赤みによって明らかになる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

急性紅斑が、日光皮膚炎、低温火傷、火傷、虫刺され、物理的処置、化学的処置、又はそれらの組み合わせによって引き起こされる、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

急性紅斑が、レーザー光線、紫外線、高周波、放射線治療、光照射ダイオード治療、マイクロダーミ擦過傷治療からなる群から選ばれる物理的処置によって引き起こされる、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

急性紅斑が化学薬品による皮膚の剥離、皮膚への薬剤治療、化粧品の適用からなる群から選ばれる化学的処置によって引き起こされる、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 6】

化学的処置が、レチノイドの適用を含む、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

急性紅斑が、日焼け、光線力学療法、及びそれらの組み合わせからなる群から選ばれる

物理的処置及び化学的処置によって引き起こされる、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 8】

アドレナリン受容体作用薬が、 - 1 アドレナリン受容体作用薬又は医薬的に許容され得るその塩である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

アドレナリン受容体作用薬が、選択的 - 1 アドレナリン受容体作用薬又は医薬的に許容され得るその塩である、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

選択的 - 1 アドレナリン受容体作用薬が、オキシメタゾリン、フェニレフリン、メトキシアミン、及び医薬的に許容され得るその塩からなる群から選ばれる、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

選択的 - 1 アドレナリン受容体作用薬が、オキシメタゾリンである、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

アドレナリン受容体作用薬が、 - 2 アドレナリン受容体作用薬又は医薬的に許容され得るその塩である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 13】

アドレナリン受容体作用薬が、選択的 - 2 アドレナリン受容体作用薬又は医薬的に許容され得るその塩である、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 14】

選択的 - 2 アドレナリン受容体作用薬が、プリモニジン、テトラヒドロザリン、ナファゾリン、キシロメタゾリン、エピネフリン、ノルエピネフリン、及び医薬的に許容され得るその塩からなる群から選ばれる、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

選択的 - 2 アドレナリン受容体作用薬が、プリモニジン又は医薬的に許容され得るその塩である、請求項 14 に記載の組成物。

【請求項 16】

選択的 - 2 アドレナリン受容体作用薬又は医薬的に許容され得るその塩が、プリモニジン酒石酸塩である、請求項 15 に記載の組成物。

【請求項 17】

組成物中のプリモニジンの質量百分率が、少なくとも0.05%、多くとも約5%である、請求項 15 に記載の組成物。

【請求項 18】

組成物中のプリモニジンの質量百分率が、少なくとも0.07%、多くとも0.7%である、請求項 17 に記載の組成物。

【請求項 19】

組成物中のプリモニジンの質量百分率が、少なくとも0.1%、多くとも0.6%である、請求項 18 に記載の組成物。

【請求項 20】

急性紅斑部位が、顔、腕、胴、又は脚である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 21】

___アドレナリン受容体作用薬又は医薬的に許容され得るその塩からなる一つの活性物質を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 22】

急性紅斑の治療を必要とするヒトの急性紅斑を治療するための、___プリモニジン又は医薬的に許容され得るその塩を含む医薬的に許容され得る組成物であって、ヒトの急性紅斑部位へ局所的に投与される、組成物。

【請求項 23】

急性紅斑の予防を必要とするヒトの急性紅斑を予防するための、___アドレナリン受容体

作用薬又は医薬的に許容され得るその塩を含む医薬的に許容され得る組成物であって、ヒトの急性紅斑になると予想される部位へ局所的に投与される、組成物。

【請求項 2 4】

予想される急性紅斑が、日光皮膚炎、低温火傷、火傷、虫刺され、物理的処置、化学的処置、又はそれらの組み合わせにさらされることによって引き起こされる、請求項 2 3 に記載の組成物。

【請求項 2 5】

日光皮膚炎、低温火傷、火傷、虫刺され、物理的処置、化学的処置、又はそれらの組み合わせを受ける前に、又は受けると同時に使用される、請求項 2 4 に記載の組成物。

【請求項 2 6】

急性紅斑の予防を必要とするヒトの急性紅斑を予防するための、プリモニジン又は医薬的に許容され得るその塩を含む医薬的に許容され得る組成物であって、ヒトの急性紅斑になると予想される部位へ局所的に投与される、組成物。

【請求項 2 7】

予想される急性紅斑が、日光皮膚炎、低温火傷、火傷、虫刺され、物理的処置、化学的処置、又はそれらの組み合わせにさらされることによって引き起こされる、請求項 2 6 に記載の組成物。

【請求項 2 8】

日光皮膚炎、低温火傷、火傷、虫刺され、物理的処置、化学的処置、又はそれらの組み合わせを受ける前に、又は受けると同時に使用される、請求項 2 7 に記載の組成物。

【請求項 2 9】

二次的な炎症の予防を必要とするヒトの二次的な炎症を予防するための、プリモニジン又は医薬的に許容され得るその塩を含む医薬的に許容され得る組成物であって、二次的な炎症になると予想される部位へ局所的に投与され、二次的な炎症が急性紅斑によって引き起こされる、組成物。